

11月6日 フロリダ州政府柑橘局「フロリダ産グレープフルーツ初荷セレモニー」実施 フロリダ州知事2013/2014シーズン到来を宣言！ 生産量は昨年並み、サイズは昨年より大玉傾向となる見込み

フロリダ州政府柑橘局日本代表事務所

フロリダ産グレープフルーツ及びその他柑橘類の保護、発展の為に設立された機関、フロリダ州政府柑橘局（日本代表事務所 代表 武田寿郎、東京都港区）は、フロリダ産グレープフルーツの2013/2014シーズンの到来にあたり、11月6日（水）、日本の食の台所である築地市場にて、東京シティ青果（株）のご協力のもと、「フロリダ産グレープフルーツ初荷セレモニー」を実施いたしました。

セレモニーでは、来日中のリック・スコット フロリダ州知事と現地生産者代表などにより、10月28日に東京湾へ到着したばかりの2013/2014シーズンフロリダ産グレープフルーツ初荷のお披露目を行ったほか、今シーズンのフロリダ産グレープフルーツの品質、収穫見込みについて発表をいたしました。

○ フロリダ産グレープフルーツにとっての日本市場の重要性

フロリダ州では、柑橘産業は観光業に次ぐ2番目の収入源であり、州内で収穫されるグレープフルーツのおよそ70%が輸出される中、その内の約半分が日本向けとなっています。そのため、日本はアメリカ本国以上のフロリダ産グレープフルーツの最大消費国であり、“最重要市場”と位置付けられています。

リック・スコット フロリダ州知事は、その挨拶の中で、「これから来年5月までシーズンが続く、世界最高品質のフロリダ産グレープフルーツを日本の皆さまに是非お楽しみいただきたい。」と今シーズンの日本市場への期待感を表明しました。



○ フロリダ産グレープフルーツの今シーズンの品質と収穫見込み

昨シーズンの1830万フィールドボックス（ルビー種 1300万フィールドボックス、ホワイト種 530万フィールドボックス）と同水準と見込まれています。一方、日本向け輸出量は、昨シーズン比20%増をめざします。また、今季は結実と成長の時期である初夏において降雨に恵まれたこと、ハリケーンの被害もなかったことから、果実の形状、果皮の状態、食味は良好であり、果汁の量でもここ5年間の平均値を上回っており、さらに昨シーズンに比べ若干の大玉傾向になると見込まれています。

フロリダ州政府柑橘局日本代表事務所では、ビタミンC、フラボノイド、クエン酸などを多く含み、疲労回復や食欲増進、風邪予防や美肌作りにも効果的な上、最も甘く、ジューシーと言われる、このフロリダ産グレープフルーツを今シーズンも日本の皆さまに広くお届けしたいと考えています。これから来年5月まで“旬”のシーズンが続くフロリダ産グレープフルーツを是非お楽しみ下さい。

-本リリースに関するお問合せ-

株式会社フルハウス
担当 山下・駒田
TEL:03-5413-0293 FAX:03-3401-8085
E-MAIL/ s.yamashita@fullhouse.jp

-フロリダ州政府柑橘局に関するお問合せ-

フロリダ州政府柑橘局 日本代表事務所
(株式会社ヤマノ アンド アソシエイツ)
担当: 大場、長田
TEL: 03-3584-7019 FAX: 03-3582-5076

【実施概要】

【タイトル】 フロリダ産グレープフルーツ初荷セレモニー

【主催】 フロリダ州政府柑橘局

【会場】 東京都中央卸売市場・築地市場内 セリ場
住所：中央区築地5-2-1 東京都中央卸売市場 築地市場内

【日時】 平成25年11月6日(水) 14:00 ~ 14:40

【内容】

- ・主催者挨拶
フロリダ州政府柑橘局 日本代表事務所 代表 武田寿郎
- ・知事挨拶・フロリダ産グレープフルーツ初荷お披露目
米国フロリダ州知事 リック・スコット
- ・今シーズンの産地状況報告
フロリダシトラスコミッション インターナショナルチェアマン マイケル・ガラバグリア
フロリダ州政府柑橘局 国際マーケティング部長 マイケル・シャドラー
- ・その他、フォトセッション・初荷グレープフルーツ試食実施

【フロリダ州政府柑橘局について】

フロリダ州政府柑橘局(Florida Department Of Citrus)とは、フロリダ州政府が、アメリカ国内に於いて柑橘類の最大産地で且つ、州内では観光産業に次いで2番目の収入となる柑橘類産業の保護、発展の為の販促活動を行うべく設立した機関です。その活動予算はフロリダ州内の柑橘生産者が支払う課徴金とアメリカ農務省予算から構成されています。(非営利団体)



日本事務局は1992年のオレンジジュース輸入自由化に伴い、より一層、日本の消費者の皆様にはフロリダ産柑橘類の素晴らしさを知って頂けるように、広告・宣伝等の様々な活動を展開しています。青果輸入業者や市場の方々とスクラムを組んで、消費拡大に向け活動しております。

【フロリダ産グレープフルーツについて】

1971年に輸入自由化されてから現在まで約40年近く輸入され続けている定番フルーツ。

産地「フロリダ」は雨が多い亜熱帯地域で泥地である事から、皮が薄く、みずみずしい、糖度と酸度のバランスがとれた質の高いグレープフルーツが育ちます。栄養面でも、ビタミンCを豊富に含み、果実が大きい為、約一個で一日に必要なビタミンCを摂取できます。また、皮に含まれるリモニンなどの精油成分の香りの効果が、気分を爽快にし、ストレス解消に良い点や糖質が少ない等、様々な健康効果が期待されています。日本には11月から、5月頃にかけて輸入されており最も旬の時期は2月中旬頃です。

